

平成 29 年度 土木工事標準積算基準 改正概要
(平成 29 年 10 月 1 日改正)

番号	項目	内容	備考
1	全体	適切な積算をサポートするため ○歩掛毎の適用範囲の記載を充実	
2	新規策定	施工箇所が点在する工事の積算 →積算方法について、「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行要領・同運用」にて定めていたものを改正して、土木工事標準積算基準に記載	
3	新規策定	1 日未満で完了する作業の積算 →実際に要した費用と発注者の積算に乖離が認められ、受注者から協議があった場合、手引き（国土交通省版）を参考に、変更設計にて対応	
4	新規歩掛	○ICT 関連【H29.5.1 改正済】 ・土工、法面整形工、路盤工 ○第Ⅱ編第 2 章 共通工 ・軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工） 【機械（変位低減型）の追加】 ○第Ⅱ編第 3 章 基礎工 ・鋼管・既製コンクリート杭工（回転杭工）	
5	廃止歩掛	○第Ⅵ編第 1 章 市場単価 【H29.10.1 改正で廃止】 ・区画線工（S7301、S7302、S7303） ・高視認性区画線工（S7095） ・排水構造物工（S7140、S7141、S7142） 【H30.4.1 改正で廃止予定】 ・橋梁塗装工 ・構造物とりこわし工 ・コンクリートブロック積工 →標準単価へ移行 (積算方法等は 9 月下旬までに別途お知らせ予定。 H29.10.1 改正 3 工種の S コードは変更無し)	

番号	項目	内容	備考
6	施工パッケージ に移行した工種 (第Ⅱ編共通工)	<u>第2章 共通工</u> ○石積(張)工 ●補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁) ●コンクリート削孔工 ●旧橋撤去工	<凡例> ●全部移行 ○一部移行
7	施工パッケージ に移行した工種 (第Ⅲ編河川)	<u>第2章 河川維持工</u> ●堤防除草工 ○多自然型護岸工 ●砂防ソイルセメント工	<凡例> ●全部移行 ○一部移行
8	施工パッケージ に移行した工種 (第Ⅳ編道路)	<u>第1章 舗装工</u> ○アスファルト舗装工 <u>第2章 付属施設</u> ○しゃ音壁設置工 ●組立歩道工 ●トンネル内装板設置工 <u>第3章 道路維持修繕工</u> ●舗装版クラック補修工 ○橋梁補修工 ●道路除草工 ●トンネル漏水対策工 <u>第4章 共同溝工</u> ●情報ボックス工	<凡例> ●全部移行 ○一部移行

番号	項目	内容	備考
9	第1編 総則 第2章 工事費の積算 ①直接工事費	・「歩掛」について、定義を追記	
10	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費)	・諸経費の対象額に含めないものを改正	
11	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費)	・表－1 工種区分 「河川・道路構造物」、「鋼橋架設工事」、 「PC 橋工事」、「橋梁保全工事」を改正	
12	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費) (現場管理費)	【H29.5.1 改正済】 ・施工地域を考慮した共通仮設費率・現場管理費 率の補正を改正 (市街地 (DID 補正)、一般交通影響有り)	
13	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費)	2-2 運搬費 ・共通仮設費率に含まれる項目を追記 (仮囲い、作業車 (PC 橋片持ち架設工)) ・積上げ項目として「自動車航送船使用料に要す る費用」が追記	
14	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費)	2-5 安全費 ・共通仮設費の率に含まれる部分について、 「⑥長大トンネルにおける防火安全対策に要する 費用 (工事中連絡設備を含む)」を追記	
15	第2章 工事費の積算 ②間接工事費 (共通仮設費)	2-7 技術管理費 ・共通仮設費の率に含まれる部分について、 ⑧及び⑨の測定費用、⑬の試験費用、⑯のシステ ム操作に要する費用を追記 ・ICT 建設機械に要する費用について、 保守点検、システム初期費、3次元起工測量・3 次元設計データの作成費用を追記	

番号	項目	内容	備考
16	第3章 一般管理費及び 消費税相当額 ①一般管理費等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費の項目（役員報酬）の内容を改正 ・付加利益（3）役員賞与に“（損金算入分を除く）”を追記 ・別表第3（注）1.「ケースー3の具体例」を修正 	
17	第4章 ①随意契約により 工事を…の 調整について ②旧基準で積算 した工事に… 調整について	<ul style="list-style-type: none"> ・No.12（施工地域を考慮した共通仮設費率・現場管理費率の補正を改正）に伴う改正 	
18	第5章 建設機械運転労 務等	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の修正 	
19	第8章 土木請負工事の おける現場環境 改善費の積算	<p>【H29.5.1 改正済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イメージアップ」→「現場環境改善」に改正 ・「現場環境改善費率」の改正 ・実施する内容に“（女性用更衣室の設置を含む）” 【営繕関係】、“（熱中症予防）”【安全関係】を追記 	
20	第9章 工事の一時中止 に伴う増加費用 等の積算	<ul style="list-style-type: none"> ・率で計上する項目（ホ. 現場管理費の増加費用）に、3項目を追記 ・別表ー1の港湾関係工種を改正 	
21	第12章 工事日数及び日 当り作業量	<p>【製本頁数の関係から第12章を〔Ⅲ〕に掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③作業日当り標準作業量 ④市場単価の1日当り標準施工量 ・歩掛改正、施工パッケージ適用による条件区分、作業量、語句の改正 ・工期算定等に対応するため、基本全ての歩掛において設定 	

※以下に記載している歩掛は全て一部改正されているが、主な改正内容のみを記載する。

番号	項目	内容	備考
22	第Ⅱ編 共通工 第1章 土工	②-1 土工【施工P】 ・3-1 掘削 「岩塊・玉石」に“押土の有無”の条件区分追記（適用範囲拡大） ・3-1 掘削 1工事当たりの取扱い土量について、「掘削」、「積込（ルーズ）」のそれぞれの土量で判断していたものを、「掘削、掘削（ICT）、積込（ルーズ）」の土量で判断するよう改正	
23	第2章 共通工	①-3 芝付工【施工P】 ・芝の標準使用量の追記 ①-8 プレキャストコンクリート板設置工【施工P】 ①-9 人工張芝工【施工P】 ・代表材料の改正	
24	第2章 共通工	② 基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工【施工P】 ・間隙充填材の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	
25	第2章 共通工	③-1 コンクリートブロック積（張）工【施工P】 ・3-2 大型ブロック積 の新規追加 ・3-14 プレキャスト基礎ブロックの新規追加 ・3-2、3-12 以外の注記、代表機労材等の改正 ・「標準ロス率」を追記 ・参考図の追加	
26	第2章 共通工	④-1 石積（張）工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
27	第2章 共通工	⑤-1 場所打擁壁工（1）【施工P】 ・吸出し防止材の設置について、点在で設置する場合を標準とする旨追記 ・「標準ロス率」を追記 ⑤-2 場所打擁壁工（2）【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
28	第2章 共通工	⑥ プレキャスト擁壁工【施工P】 ・適用範囲の整理 ・代表機労材の改正	

番号	項目	内容	備考
29	第2章 共通工	⑧ ジオテキスタイル工【施工P】 ・3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 「土のう」「植生マット」の条件区分削除 ・上記以外、注記、代表機労材の改正	
30	第2章 共通工	⑩-1 排水構造物工【施工P】 ・3-9 プレキャストL型側溝 L型側溝の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記 ⑩-2 排水構造物工（管（函）渠型側溝・溶接金網 及び埋設鋼板型枠） ⑩-3 排水構造物工（場所打ち水路（本体））【施工P】 ・“鉄筋の有無”の条件区分追記（適用範囲拡大） ・「標準ロス率」を追記 ⑩-4 排水構造物工（場所打ち集水柵・街渠柵（本 体））【施工P】 ・適用できない範囲が“1箇所当りのCo使用量 0.2m ³ 未満”（←0.3m ³ 未満）に改正（適用範囲 拡大） ・「標準ロス率」を追記	
31	第2章 共通工	⑪-1 サンドマット工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記 ⑪-2 粉体噴射攪拌工（DJM工法）【施工P】 ・「標準ロス率」を追記 ⑪-3 スラリー攪拌工 ・適用範囲に“二軸施工（変位低減型）”を追記 （適用範囲拡大） ⑪-6 中層混合処理工	
32	第2章 共通工	⑰ 吸出し防止材設置工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
33	第2章 共通工	⑱ 目地・止水板設置工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
34	第2章 共通工	⑳ かご工【施工P】 ・詰石の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	
35	第2章 共通工	㉑ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土【施工P】 ・溶接金網の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	

番号	項目	内容	備考
36	第2章 共通工	⑳-1 函渠工（1）【施工P】 ⑳-2 函渠工（2）【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
37	第3章 基礎工	① 鋼管・既製コンクリート杭打工 ①-2 中掘工 ・諸雑費の対象の明確化 ①-4 回転杭工 ・新規歩掛 ①-5 杭頭処理工 ・旧「既製コンクリート杭カットオフ工」の名称 変更及び掲載場所変更	
38	第3章 基礎工	④ ニューマチックケーソン工 ・高気圧作業安全衛生規則改正（H27.4.1改正）に 伴う作業方法に対応した改正	
39	第3章 基礎工	⑤ 基礎工（鋼管矢板基礎工） ・⑤-1 打撃工法、⑤-2 中掘工法に分けて記載 （歩掛の変更なし）	
40	第4章 コンクリート工	① コンクリート工【施工P】 ・代表材料の備考欄を改正 ・「標準ロス率」を追記	
41	第4章 コンクリート工	②-1 型枠工【施工P】	
42	第5章 仮設工	① 仮設工 ・工事用仮設材（鋼矢板等）の計上について、 各場合において、“適用価格”を改正 また、注意書きを追記	
43	第5章 仮設工	② 鋼矢板（H形鋼）工 ②-1 バイブロハンマ工 ・日当り継施工枚（本）数の改正 ・継施工費の改正 ②-3 油圧圧入引抜工 ・最小圧入長の改正（適用範囲縮小） $50 < N_{max} \leq 600$ の場合 $3.0m \leq$ 圧入長 → N_{max} によらず $4.0m \leq$ 圧入長 ・土等の除去方法に関する費用計上方法を追記 ②-4 ディーゼルハンマ・プレボーリング	

番号	項目	内容	備考
44	第5章 仮設工	⑤-1 鋼矢板打込施工法選定表（参考） ・歩掛の一部改正に伴い選定表の改正	
45	第5章 仮設工	⑥ 仮設材設置撤去工 ・歩掛の対象を明確化	
46	第5章 仮設工	⑩-2 大型土のう工 ・使用機械の改正	
47	第5章 仮設工	⑱ 仮設電力設備工 ・使用機械の改正	
48	第5章 仮設工	㉑ 交通誘導警備員 ・労務費改定による「区分6」の係数の改正	
49	第Ⅲ編 河川 第1章 河川海岸	①-1 消波根固めブロック工【施工P】 ・施工パッケージの細分化 “据付” → “横取り”、“積込”、“荷卸”、“据付” ・施工パッケージの削除 “仮置” ・「標準ロス率」を追記	
50	第2章 河川維持工	② 堤防天端補修工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
51	第2章 河川維持工	③ 堤防芝養生工【施工P】 ・代表機械・材料の追加	
52	第2章 河川維持工	⑥ ボーリンググラウト工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
53	第2章 河川維持工	⑨-1 巨石積（張）工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
54	第2章 河川維持工	⑩ 護岸基礎ブロック工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
55	第2章 河川維持工	⑪-1 かごマット工（スロープ型）【施工P】 ・中詰用石材の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記 ⑪-2 かごマット工（多段積型） ・参考図の修正	
56	第2章 河川維持工	⑬ 野芝種子吹付工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
57	第2章 河川維持工	⑭ 袋詰玉石工【施工P】 ・“据付深さ・作業半径”の条件区分追記 ・代表機械の改正	

番号	項目	内容	備考
58	第2章 河川維持工	⑮ 笠コンクリートブロック据付工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
59	第2章 河川維持工	⑱ 光ケーブル配管工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
60	第3章 砂防工	②-1 コンクリート工 ・適用範囲に、“打設量 10m ³ /日以上 150m ³ /日 未満”を追記 ②-6 残存型砕工 ・「残存型砕工及び残存化粧型砕工」の歩掛改正 ・「天端手摺設置・撤去」「足場（キャットウォーク）設置・撤去」の歩掛追加	
61	第3章 砂防工	③-1 仮設備工 ・ケーブルクレーンの積算について追記 ③-2 仮設備工（砂防コンクリート生産設備）	
62	第3章 砂防工	⑦水替とい工	
63	第4章 地すべり防止工	①-3 地すべり防止工（集排水ボーリング工）【施工P】 ・（注）に“削孔長区分（50m/80m）は、土質毎ではなく、削孔する1本の全長で判断する。”と追記 ・「標準ロス率」を追記 ①-5 地すべり防止工（ふとんかご） ①-6 地すべり防止工（じゃかご） ・“かご工”→“ふとんかご”と“じゃかご”に分割	

番号	項目	内容	備考
64	第IV編 道路 第1章 舗装工	①-1 路盤工【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
65	第1章 舗装工	②-1 アスファルト舗装工【施工P】 ・適用範囲が、以下のとおりに改正 “平均厚さが <u>25mm</u> 以上、 <u>70mm</u> 以下の場合” → “ <u>1層当り</u> 平均仕上り厚が <u>70mm</u> 以下の場合” ・条件区分が以下のとおり改正 「平均厚さ（ <u>範囲選択</u> ）」 →「 <u>1層当り</u> 平均仕上り厚（ <u>実数入力</u> ）」 ・瀝青材料の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	
66	第1章 舗装工	③-1 排水性アスファルト舗装工【施工P】 ・適用出来ない範囲が、“1層当り平均仕上り厚が” 「 <u>50mm</u> を超える」（平均施工幅員 1.4m 未満） 「 <u>65mm</u> 以上」（平均施工幅員 2.4m 以上） 場合と改正 ・条件区分が以下のとおり改正 「平均厚さ（ <u>範囲選択</u> ）」 →「 <u>1層当り</u> 平均仕上り厚（ <u>実数入力</u> ）」 ・瀝青材料の標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	
67	第1章 舗装工	③-3 透水性アスファルト舗装工【施工P】 ・適用出来る範囲が、“1層当り平均仕上り厚が” 「 <u>50mm</u> 以下」（平均幅員 1.4m 未満）、 「 <u>70mm</u> 以下」（平均幅員 1.4m 以上）場合と改正 ・条件区分が以下のとおり改正 「平均厚さ（ <u>範囲選択</u> ）」 →「 <u>1層当り</u> 平均仕上り厚（ <u>実数入力</u> ）」 ・「標準ロス率」を追記	
68	第1章 舗装工	⑥ 踏掛版【施工P】 ・条件区分「鉄筋量」について、適用範囲拡大 （ <u>0.28t/m³</u> 以上 <u>0.34t/m³</u> 未満が追加） ・「標準ロス率」を追記	

番号	項目	内容	備考
69	第2章 附属施設	①-3 立入り防止柵工【施工P】	
70	第2章 附属施設	③-1 路側工（据付け）【施工P】 ・積算条件区分の改正（表の簡素化） ・ブロックの標準使用量を追記 ・「標準ロス率」を追記	
71	第2章 附属施設	④ 特殊ブロック設置工【施工P】 ・ブロックの標準使用量を追記	
72	第2章 附属施設	⑥橋梁附属施設設置工【施工P】 2-3 橋梁用高欄	
73	第2章 附属施設	⑧道路附属物設置工【施工P】	
74	第3章 道路維持修繕工	⑧道路附属構造物塗替工【施工P】 ・JIS規格の削除	
75	第3章 道路維持修繕工	⑩-1 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）【施工P】 ⑩-2 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）【施工P】 ⑩-3 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）【施工P】 ・エポキシ樹脂の単位質量を追記 ⑩-4 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）【施工P】 ・「標準ロス率」を追記	
76	第3章 道路維持修繕工	⑩-1 管渠清掃工、側溝清掃工及び排水桝清掃工 （組合せ作業） ・機種規格の改正 ⑩-2 側溝清掃（単独作業） ・機種規格の改正 ⑩-4 集水桝清掃工（単独作業） ・側溝清掃車の運転労務の見直し	
77	第3章 道路維持修繕工	⑫桁連結工【施工P】 ・溶接棒の標準使用量の追記	
78	第3章 道路維持修繕工	⑮道路附属物のコンクリート面塗装工	

番号	項目	内容	備考
79	第4章 共同溝工	①-1 共同溝工（1）（構造物単位） ①-2 共同溝工（2） ・参考図の削除	
80	第4章 共同溝工	②電線共同溝工（C・C・BOX）【施工P】 ・「管路材設置（埋設部）」の適用範囲改正 ・代表機労材の改正 ・3-7 管路工 積算条件区分の細分化 ・「標準ロス率」を追記	
81	第4章 共同溝工	③情報ボックス工 ・「標準ロス率」を追記	
82	第4章 共同溝工	④観測井戸設置工	
83	第5章 トンネル工	①-2 トンネル工（NATM）[機械掘削工法]	
84	第5章 トンネル工	②小断面トンネル工（NATM） ・コンクリート吹付機の規格修正	
85	第5章 トンネル工	③トンネル裏込め注入工	
86	第6章 道路除雪工	①道路除雪工 ・排出ガス対策型除雪車の追加 ・凍結防止剤人力散布歩掛改正 ・1人乗り除雪グレーダの追加による改正	
87	第7章 橋梁工	①鋼橋製作工	

番号	項目	内容	備考
88	第7章 橋梁工	③鋼橋架設工 <ul style="list-style-type: none"> ・合成床版工の歩掛追加 ・クレーンの吊り能力の改正 ・クレーン運転に使用する発動発電機の規格改正 ・(据付工) 日当り施工量・諸雑費率の改正、標準クレーンの設定 ・(地組工) 適用範囲の拡大、日当り施工量・諸雑費率の改正 ・(架設工) 適用範囲の拡大、日当り施工量・諸雑費率の改正 ・(本締め工) 日当り施工量の改正、注記の追記 ・(落橋防止装置取付工) 日当り施工量の改正、標準クレーンの設定 ・(ベント設備設置・撤去) 日当り施工量・諸雑費率の改正、標準クレーンの設定、ベント設備損料に乗ずる率の区分改正 ・(ベント基礎設置・撤去) 日当り施工量の改正、標準クレーンの設定、ベント基礎の延べ面積の計算式改正 ・(架設用機械設備及び工具の供用日数等) 供用日数の改正 ・(足場工) 適用範囲の拡大、安全通路(ラーメン桁)の撤去歩掛係数の改正、 ・(防護工) 適用範囲の拡大、ネット防護工の新設 ・(登り栈橋工) 設置条件・設置箇所数の改正、工費の係数改正 ・(鋼床版現場溶接工) 道路橋示方書の改定に伴う適用条件の見直し、見直しに伴う歩掛改正 ・(鋼床版Uリブ現場溶接工) 表現の見直し ・(移動式クレーンの機種選定) 移動式クレーンの吊り能力の改正、適用範囲の拡大 	
89	第7章 橋梁工	④-1 プレビーム桁製作工(現場)	

番号	項目	内容	備考
90	第7章 橋梁工	⑤鋼橋床版工 ・型枠用合板、正割材、養生マットの標準使用量・ 標準焼却率を追記	
91	第7章 橋梁工	⑨PC橋架設工 ・登り架橋工の使用状況変化による適用条件の変更 ・表3.2（ポストテンション桁）の注記追記 ・「トラッククレーンによる架設」「架設桁架設」「横 組工の緊張工」の係数日数の改正	
92	第7章 橋梁工	⑩-1 橋台・橋脚工（1） ⑩-2 橋台・橋脚工（2） ・適用範囲の明確化	
93	第V編公園 第1章 公園植栽工	②公園除草工 ・草刈機の規格追記	
94	第VI編市場単価 第1章 市場単価	①-1 鉄筋工（太径鉄筋含む） ①-2 鉄筋工（ガス圧接工） ・市場単価が適用できない範囲に“離島及び山間僻 地等で、明らかに単価が異なると判断される地域 の場合”を追記	
95	第1章 市場単価	②インターロッキングブロック工 ③-1 防護柵設置工（ガードレール） ③-2 防護柵設置工（ガードパイプ） ③-3 防護柵設置工（横断・転落防止柵） ③-4 防護柵設置工（落石防止柵） ③-5 防護柵設置工（落石防止網） ④-1 法面工 ④-2 吹付砕工 ⑤ 道路植栽工 ⑥橋梁塗装工【H30.4.1改正で廃止予定】 ・適用できない範囲の追記（市場単価①と同様）	

番号	項目	内容	備考
96	第1章 市場単価	⑦-1 橋梁用伸縮継手装置設置工 ⑦-2 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 ・適用できない範囲の追記（市場単価①と同様） ・伸縮継手装置一覧表の修正	
97	第1章 市場単価	⑧構造物とりこわし工【H30.4.1改正で廃止予定】 ・適用できない範囲の追記（市場単価①と同様）	
98	第1章 市場単価	⑨薄層カラー舗装工 ・適用できない範囲の追記（市場単価①と同様） ・加算率（施工規模）の改正	
99	第1章 市場単価	⑩道路標識設置工 ⑪道路付属物設置工 ⑫公園植栽工 ⑬軟弱地盤処理工 ⑭コンクリートブロック積工【H30.4.1改正で廃止予定】 ⑮橋面防水工 ⑯グルーピング工 ⑰鉄筋挿入工（ロックボルト工） ⑱コンクリート表面処理工（ウォータージェット工） ・適用できない範囲の追記（市場単価①と同様）	

番号	項目	内容	備考
100	第Ⅶ編参考資料 第1章 工事費の積算	①間接工事費 ・1-1 運搬費 （3）敷鉄板の費用について、積上方法を明確化 （5）地区割増料対象に“新潟市”を追記、地区割増料の対象を注記に追記 ・1-3 技術管理費 （1）各種動向調査を削除	
101	第2章 土工	②プレロード盛土 ③土（岩）の敷均し ⑤人土工 ・歩掛の参照先を修正	